

## 「産・官・学のコラボレーション」による ファッションショー Jack in the Box

開催日：2008年2月4日  
会場：琵琶湖ホテル(大津市)  
主催：デザイン科ファッションデザインクラス  
協賛：浜縮緬工業協同組合、湖東繊維工業協同組合、  
高島織物工業協同組合、株式会社琵琶湖ホテル  
後援：滋賀県、滋賀県東北部工業技術センター



前期授業「地域産業論」で繊維を軸にした地元滋賀県の地場産業に携わる各分野の専門家を講師から現状や今後のあり方などを学修し、産地の技術や品質の高さを知り、繊維における地場産業の認識をあらたにした。

ファッションデザイン群三年では後期のファッション産業軸の実習授業で、これらの繊維・地場産業、①長浜の「浜縮緬」、②東近江の「麻素材」、③高島の「綿織物」を三産地ごとに個々の素材紹介的なプレゼンテーションでなく、三素材を融合した「滋賀ブランド」というべきコンセプトを地場産業の活性化を若者の視点でデザインからマーケティングにいたる挑戦をファッションビジネス的発表に加え、生活者（消費者）にも伝える試みをした。そこで、行政面から地場産業を支援する滋賀県新産業振興課や東北部工業技術センターの「後援」支援や、三産地協同組合はもちろん、会場である琵琶湖ホテルもCSR（企業の社会的責任）から「協賛」の協力を得て、県内の繊維産業・産地の理解、啓蒙を深めるべく、若者（学生）視点からの「産・官・学のコラボレーション」企画としてファッションショー「JACK IN THE BOX」（びっくり箱）というテーマを4ブランド構成で学内の他クラスの協力も得て発表した。発表にあたっては行政や三産地の関係者を初めファッション業界の方々から学内関係者、一般客など多数の参観をみた。また、報道関係ではNHKから読売新聞、京都新聞その他の広報活動を得て有意義であった。

文：早川雅明（デザイン科教授）